



塩中だより

第16号

令和4年7月20日(水)
四日市市立塩浜中学校
(文責) 学校長

夏休みがやってきました!

本日、1学期の終業式を行いました。79名の生徒が全員揃ってという訳にはいきませんでした。最近の連日の湿気の多い暑さにも負けず、約4か月を乗り切ったことに、まずは感謝したいと思います。ご家庭でのご協力ありがとうございました。

さて、夏休みは生徒たちにとっては、待ち遠しくて仕方がないものですが、保護者(親)にとっては、長い長い休みのため、心配でたまらないものではないでしょうか。どうしても生活が不規則になりがちで、「昼夜が逆転してしまわないか?」「親が仕事でいない間、いったい何をしているのだろうか?」「宿題はしているのか?」と心配は尽きません。その心配を拭い去ることは難しいかもしれませんが、まずは「朝決まった時間に起床する。」ことを守っていれば大きく生活が乱れることはないものです。



「夏休みぐらい・・・。」は禁物です!

3年生:進路に向けた目標をしっかり定め、今までの人生で最も学習努力する夏!

2年生:宿題と両立しながら、部活動で自分を高め、チーム(部)を引っ張っていく夏!

1年生:今まで経験したことのない部活動を頑張る夏!課題(宿題)に挑戦する夏!

どの夏をとっても、生活のリズムが基本です。「早寝・早起き・朝ごはん」は夏休みといえども守りたいものです。宿題を終え、9月1日(木)に元気よく登校する姿を楽しみにしています。

夏休みの補充学習について

本校では、夏休みの期間、日を限定して教科の学習を復習するための補充学習日を設けています。国・数・英を中心に基本的な学習を指導する予定です。1学期の学習範囲でわかりにくかったところ、夏休みの課題等でわからないこと等、教科担当及び複数の教師が指導にあたります。この機会に苦手な内容を少しでも克服できるようにしたいと思います。(人数の関係上、三者懇談会で用紙をもらった生徒に限ります。)

また、各教科の質問日も設けていますので、宿題等でわからないところがでてきたら、上手に活用してください。

補充学習

日時: 7月26日(火) 8月4日(木) 8月25日(木)

いずれの日も 13:30~15:45

場所: 3年生→美術室 1・2年生→集団学習室

質問日: 7月25日(月) 午前→英語、午後→理科 7月28日(木) 午前→技術

7月29日(金) 午後→国語、社会、数学 8月23日(火) 午後→理科

8月26日(金) 午前→国語、社会、数学、英語 午後→技術

午前: 9:00~11:00 午後: 13:30~15:30



—学校閉校日—

8月10日~16日は市内小・中学校において、部活動や補充学習を行わず「学校閉校日」となります。原則、学校は教職員不在となりますのでご承知おきください。

この間、急を要する場合は<TEL 354-8251(教育委員会学校教育課)>にお願いします。

「PTA除草作業」よろしくお願いします

例年、地域の方々、地域の企業の方々、PTA会員の皆さまにお世話になっている「PTA除草作業」を、今年は8月27日(土)に実施します。

この除草作業は、塩浜地区の学校に通う子どもたちが、気持ちよく2学期を迎えられるようにと、自治会長さんを中心に、地域住民や、地域企業に参加を呼び掛けて始まったと聞いています。

ご理解の上ご協力をお願いいたします。小雨決行としますが、午前6時にPTA本部が判断を行い、その後“ホーム&スクール”にて実施の有無をお知らせします。



子どもの夏休みを充実させるために

◆夏休みは子どもにとっては成長の時

身体も心も大きく成長する機会です。夏休みに向けて、家庭ではどんな準備をして、子どもの力を伸ばせばいいでしょうか。子どもの力を伸ばす関わり方について考えてみましょう。

夏休みはその名のおり休みです。子どもが日常の学校生活から解放され、リラックスし、同時に楽しい時を過ごすことを最優先にしたいものです。そうすることで、新学期に向けての充電となります。

◆目標とスケジュールを立てましょう

何か課題設定して過ごすことをお勧めします。早寝早起きなどの生活習慣や、学習習慣の維持、中学生であれば部活動への参加などやるべきことはあります。それ以外に、何らかの課題をもって過ごすのです。それを実行できたとき、子どもは充実した夏休みを過ごしたと感ずることができます。そのためにお子さんとの話し合い、そして、子どもの計画力を高めましょう。

家族のスケジュールがはっきりしたところで、子どもと話せる時間をとります。まず、子どもが夏休みをどう過ごしたいと思っているかを聞きます。この夏休みはどう過ごしたい?と問いかけると子どもは答えてくれるでしょう。

◆「別に・・・、何にもしたくない」と言われたら

「何言ってるの、きちんとスケジュール立てなさいよ」などと説教口調にならないように気を付けて。「そうか、何にもしたくないのか。いっぱい楽しむ計画しようよ」と話し合いに誘います。

子どもがやってみたいことを聞いてみましょう。やりたいこと、行ってみたいところ、読みたい本など。その中から一つ課題を選びます。「泳げるようになる夏」、「一人で祖父母の家まで旅する夏」など。カレンダーを用意し、家族旅行、学校のプールやサマースクール、部活動の日程、宿題、課題との取り組みと予定を入れていきます。

充分余裕のある計画となるよう見守りましょう。子ども自身が中心になって考えていくとき、夏休みに対する期待が高まり、子どもの計画力を伸ばします。

◆実行の段階に入ったら、あとは子どもに任せます

ときには計画通りには行かないこともあるでしょう。「やっていない」としかるのではなく、計画修正を促してください。もともと無理のない計画であれば、実行し、定期的に振り返ることで、子どもはできる実感を持ち、自信を育てます。小さな課題が子どもの力を大きく伸ばしてくれます。

家族全員が充実した夏休みとなるように！！・・・では、また9月にお会いしましょう！